

緑のセンターだより

NO. 221 平成 29 年 8 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ネムノキ

ネムノキは高さ 10m にも達する落葉高木で、熱帯アジアを中心に、日本では本州、四国、九州、沖縄の山野に分布しています。北海道に自生しないため札幌近郊では越冬が難しいとされ、越冬できたとしても、多くの場合、冬の寒さで地上部が枯れ、翌春に地際近くや枝・幹から不定芽が伸びるのを繰り返すばかりで、なかなか大きく成長できないようですが、稀に 5m を越すネムノキを見ることができます。

ネムノキは対生する小さな葉（小葉）が 15~40 対集まって、鳥の羽のような羽状葉をつくり、この羽状葉がさらに 5~15 対集まって 1 枚の葉となっています。このような葉を 2 回羽状複葉と言います。

夜になると葉が眠るように閉じることからネムノキの名前が付けられたと言われています。このような植物の葉や花の開閉運動を就眠運動と呼んでいます。ネムノキの葉の就眠運動は、葉沈（ようちん）と呼ばれる小葉柄・葉柄などの基部の一部が特殊化した組織の屈曲によってお

こります。ネムノキは葉を上に閉じますが、この運動は葉枕の上の細胞が膨圧（体積）を下げる縮み、下側の細胞が体積を増して膨らむことによって起こります。葉の就眠運動をする植物には葉を下に閉じる植物（インゲンマメ、カタバミなど）と上に閉じる植物（シロツメクサ、ヨモギなど）があります。なぜ植物が就眠運動をするのかは夜の放射冷却による葉からの水分の蒸発を防ぐためとも言われていますが、研究により運動のメカニズムは解明されてきているものの、明確な答えは解っていないようです。

花は夏の夕方、葉が眠る頃に開きます。枝先に 10~20 個の花が一つに集まって房のように咲きます（頭状花序と言います）。ネムノキの一個の花の花弁と萼は小さく、目立ちません。細長く刷毛のように伸びてピンクの花のように見えるのは、雄しべで、長さが 2~3 cm あります。

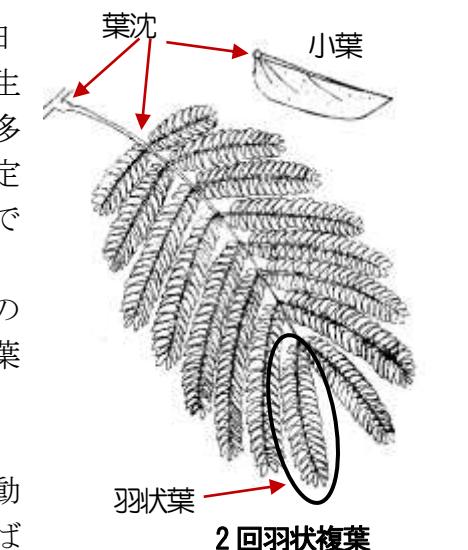
園芸店で時々見かけるヒネムは、花のように見える雄しべの色が赤く、やや纖細な感じがする以外は、ネムノキと全く同一のものに見えますが、ヒネムは、同じマメ科のベニゴウカン属（Calliandra 属）の植物で、ネムノキとは違う属の植物のようです。

某大手企業の CM ソングで有名な「気になる・名前も知らない」あの木もネムノキの仲間ですが、その木の名前は CM にならない「名前も知らない木」ということでここでは言わないことにしますので、気になる方は緑のセンターまでお尋ねください。

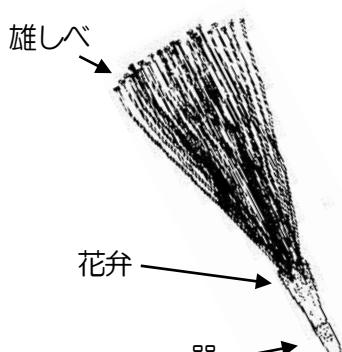
君が庭に植ゑれば 何花ねむの花 夕になれば ねるねむの花 子規

<参考文献> 「園芸植物大事典」小学館、「植物の百科事典」朝倉書房、

「植物の世界」朝日新聞社、「樹木樹木大図説」有明書房



頭状花序



1つの花

8月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜 ☆百合が原公園 改修工事のため休館 (平成30年1月下旬頃までの予定)

◆イチゴの定植

ランナーから小苗を取り育てて定植する方法

苗の準備: 7月末~8月5日頃にかけ 10.5~12.0cm ポットにランナーから伸びた本葉3~4枚の子苗を受けて育苗を始め、8月10~15日頃に親株と切り離し、定植する8月25日頃までに本葉5~6枚の苗に育てます。

苗の選定: 本葉5~6枚で株元（クラウンとも言い、花芽・葉が出てくるところ:図1)が太く、ズングリした苗が理想です。

畑の準備: 植え付けの2週間前に堆肥2kg/m²、野菜用化成肥料100g/m²を施し、土と十分に混ぜて馴染めます。

畠作り: 高さ15cm・畠幅70~80cmの畠を作り、条間40cm・株間30cmで植え付けます。

植え付け: 8月下旬に鉢の上面と畠の面が平らになるように植え付けます。このとき、葉の付け根が埋もれてしまわないようにして下さい（図2）。埋もれてしまうと生育が悪くなります。親株から伸びるランナー（ツル）を畠の内側の方に向けて植えると実は手前に成り、収穫しやすくなります。

水やり: 根付きを促しますために植え付け後4~5日間は表土が乾いたら灌水します。水が少なくてやり過ぎても根の生育を抑制しますので注意しましょう。

植え付け後の手入れ: ①植え付け後に発生するランナーは早めに除去し、株の充実を図ります。②11月上旬に枯れ葉をとりますが、その時に緑の葉は冬を超す養分になりますので古い葉であってもつけておきます。

今年収穫した株（経年株）をそのまま使う方法

- ①8月上・中旬に地上10cmほどで葉も含めて刈り取ります。
- ②刈り取り後、一株にクラウンが5~6芽ほどあるので（図3）、2芽を残し、他の芽は搔き取ります。
- ③芽を搔き取った後の表面を乾かすため一日置き、翌日に20g/m²の肥料を混ぜた土を、残した2芽が埋もれない程度に土寄せをします（図4）。

◆アンスリウムの育て方と増やし方

1. 良い株の選び方

- (1) 新しい花が一番上にある・・・新しい花が一番高い位置で咲いているのは体力が充実している証拠です。弱った状態では、古い花よりも低い位置で咲いています。
- (2) 新しい花の肉穗花序が白い・・・肉穗花序は、黄→白→緑と色が変わります。白い肉穗花序は、花が落ちている状態です。



図1

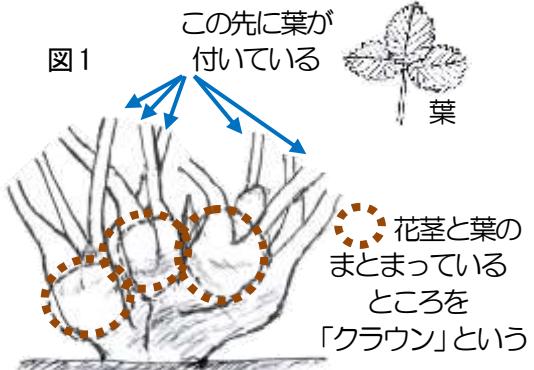


図2 イチゴの植え込みの深さ

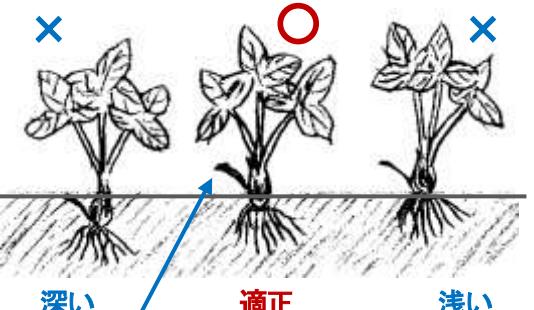


図3

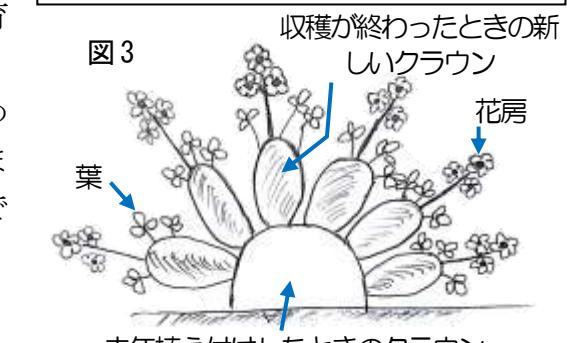


図4 たくさんあったクラウンを1株あたり2つのクラウンにした状態

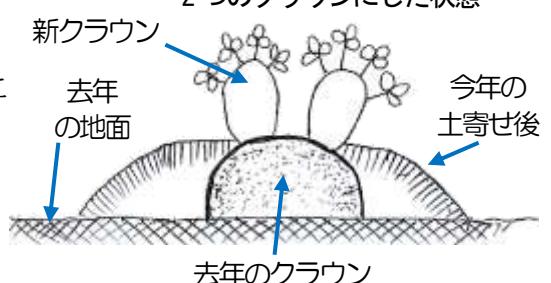


図5 土寄せによるクラウンの増殖

- (3) 株元に花芽がある・・・自宅で花を咲かせる楽しみがあります。花芽は花と同色です。
- (4) 葉の色が濃い・・・葉の色は栄養状態のバロメーター。葉先に変色や枯れがなく、葉色が濃くつややかな株を選びます。

2. 置き場所

強い直射日光に当たると、葉焼けを起こし、生長も衰えます。

6~10月の生育期は戸外の半日陰、または、50~60%の遮光ネット下で管理します。10月末に室内に取り込んで、レースのカーテン越しの日光の当たる場所で管理します。

冬は7~8°C程度でも耐えますが、葉は落ちてしまいます。葉を落とさずに管理するためには、最低10°C以上の室温が必要です。冬にも花を咲かせたいのであれば17°C以上の室温が必要になります。

3. 水やり

熱帯の植物なので温度が高く、やや湿気の多い環境を好みます。4~10月の生育期は鉢土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。また、こまめに霧吹きなどで茎葉に水をかけることにより、株が生き生きとなり元気に育ちます。多湿を好むというのは用土が常に湿ったような環境であるということではなく、空気中の湿度が高い環境を好む、と理解すればよいでしょう。冬は生育が衰えるので、水やりの回数を少なくします。

4. 肥料

肥料は気温が十分に上がってくる5月中旬頃から月に1回程度、生育状況を見ながら液体肥料の1000倍液を与えます。ただし、気温が低いうちの施肥は根腐れを起すことがあるため低温が続くときは遅らせると良いでしょう。また、肥料を施すと生長も葉の色つやも良くなりますが、濃いものを与えたり、回数が多くても根腐れを起すので気をつけます。肥料は9月頃までとし、それ以降は翌春まで与える必要はありません。

5. 植え替え

植え替えは2年に1度を目安に行います。適期は5月~7月、気温が高く(20°C以上)元気に生長している時期に行うのがコツです。

用土は、水はけと水もちの良いものが適しています。

- (1) ピートモス5:パーライト4:赤玉土1
- (2) 赤玉土5:鹿沼土2:軽石2:ヤシ殻1
- (3) 観葉植物用の培養土
- (4) 水ゴケ専用・・・水ゴケは黒ずんで傷みやすいので、状態によっては毎年新しい材料で植え替えたほうが良いです。水ゴケ専用の場合は他の用土より過湿気味になりますので、水のやりすぎには十分注意しましょう。

6. 増やし方

株分けで簡単に増やせます。植え替えを兼ねて行うと良いでしょう。鉢から抜いた株は根を傷めないように古い用土をていねいに取り除きます。付け根から子株が出ているので、その子株を葉が4~6枚ついた状態で切り分けて新しい用土で植え付けます。

7. かかりやすい病害虫

- 黒斑病・・・多湿期に葉に黒い斑点ができるので、殺菌剤を散布して予防に努めましょう。
- アブラムシ・・・春に伸びる新芽につきやすいので、その前に薬剤を散布して駆除します。
- ナメクジ・・・葉や花を食害するので見つけ次第、捕殺します。



新しい花が一番上にあり、
株元に花芽がある



1. 新芽の下の方の茎に
湿らせた水ゴケを巻き、
ひもや輪ゴムでとめておく



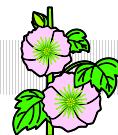
2. 1ヶ月ほどで水ゴケを
巻いた所に根が出てくる
ので、水ゴケの下で切る



3. 水ゴケを巻いたまま
鉢に植えつけます。



8月～9月の催しのお知らせ



豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
サボテンと多肉植物展	9月5日(火)～9月10日(日)		札幌カクタスクラブ	入場無料
園芸教室・自然教室				
秋の庭仕事	8月20日(日)	13:30～	8/11(金)～	無料
堆肥作り	9月12日(火)	〃	〃	〃
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月13日(水)	〃	〃	〃
シリーズ講座				
【やさしい宿根草講座】 ⑤秋の魅せ方と春の準備(球根)	9月9日(土)	13:30～	8/11(金)～	100円
クラフト教室				
あけびとヘリクリサムの平かご	8月30日(水)	10:00～	8/11(金)～	2,300円

百合が原公園 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・ガイド				
お散歩ガイド	8月26日、9月2日～30日 (毎週土曜日開催)	13:00～	P2駐車場近くのボランティア控室前へ	無料
オリエンテーリング「ダリア」	9月12日(火)～24日(日)	9:00～16:30	直接会場へ	〃
百合が原公園緑のセンターは改修工事のため、6月19日(月)～平成30年1月下旬頃まで休館となります。 休館中は展示会及び緑の相談はお休みさせていただきますが、講習会・ツアー・ガイドにつきましては実施予定です。 詳しくは百合が原公園HPに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。 なお、休館中は講習会の受付・お問い合わせの電話番号が変わります(011-772-4722)。				

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
庭木の手入れ⑥オンコの整枝・剪定	8月13日(日)	10:00～、13:30～	7/11(火)～	300円
鉢花等の秋管理	8月25日(金)	13:30～	8/11(金)～	100円
秋の庭仕事(座学)	8月27日(日)	10:00～	〃	〃
庭木の手入れ⑦モミジ類の整枝・剪定	9月10日(日)	10:00～、13:30～	〃	300円
イベント				
ひらおか庭園コンサートinみどりーむ	9月9日(土)	11:00～13:50	直接会場へ	無料

他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
滝野の森 野外昆虫博物館	7月26日(水)～8月20日(日)	駐車料金有入園料別途 遊びにより要申込・有料	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
ダリア Selection2017	8月26日(土)～10月8日(日)		
ガイドウォーク	8月25日・9月8日(金)13:00～	当日受付12:50まで：100円	西岡公園 582-0050
夏休み平岡公園にぎわいフェスタ	8月12日(土)9:15～9:30受付	時間までに直接会場へ：100円	平岡公園 881-7924
秋のチョウチョと虫の観察ツアー	9月2日(土)10:00～	直接会場へ：100円	
鴨々川ノスタルジア【日本庭園会場】	9月2日(土)～9月3日(日)	直接会場へ：無料	中島公園 511-3924
鴨ノス茶会(茶室にて)：要申込・500円、野点：当日先着80名・300円			
アラスカのサケたち～ベニザケ編	9月12日(火)～10月15日(日)	直接会場へ：無料	さけ科学館 582-7555
真駒内ミニすいぞくかん	8月19日(土)14:00～	直接会場へ：無料	
札幌国際芸術祭 2017	8月6日(日)～10月1日(日)	有料/パスポート	モエレ沼公園 790-1231
モエレ沼芸術花火 2017	9月9日(土)19:25～	チケット制:会場モエレ沼公園	モエレ沼芸術花火開催委員会 375-7271
創成川公園サンキューフェスタ	9月1日(金)～3日(日)	直接会場へ(創成川公園)	大通りまちづくり株 211-1185
大通公園おもてなしガイドツアー	8月26日(土)・30日(水)10:00～	要申込:無料	大通公園 251-0438
創成川公園まるわかりガイドツアー	8月19日(土)10:00～	要申込:無料	創成川公園 221-4100